

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)広島市中区鉄砲町ホテル			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)				
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.40		-	3.1
1 音環境					2.6	0.15	3.0	1.00	2.9
1.1 騒音					3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音					3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境					3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温					3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能					3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性					3.0	0.37		-	
2.2 湿度制御					3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境					3.3	0.25	3.1	1.00	3.1
3.1 昼光利用			客室の窓の面積を大きく確保している。		4.1	0.31	3.6	0.30	
1 昼光率					5.0	0.58	4.0	0.60	
2 方位別開口						-	3.0	-	
3 昼光利用設備					3.0	0.42	3.0	0.40	
3.2 グレア対策					3.0	0.29	3.0	0.30	
1 昼光制御					3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.26	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.5	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策			F☆☆☆☆を全面的に使用している。		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策						-		-	
4.2 換気					3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理			3.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視			3.0	0.02		-			
2 喫煙の制御			3.0	0.98		-			
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.9
1 機能性					3.7	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ			Gbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境を整備。 バリアフリー新法の基準を満たしている。		4.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					3.0	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	5.0	0.50	
3 バリアフリー計画					4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性			事務室、宿泊室の天井高2.5m以上としている。		3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観					3.0	0.01	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					3.0	0.01		-	
3 内装計画					3.0	0.98	3.0	0.50	
1.3 維持管理			内装、外装において維持管理に極力配慮している。 清掃等においてスペース、設備をフロア毎に配置している。		4.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保					4.0	0.50		-	
3 衛生管理業務						-		-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50		-	
1 耐震性					3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数			給水:C 汚水:C 雑排水:D		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20		-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
	3 対応性・更新性			2.6	0.30	1.7	1.00	1.7	
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	共用部分の階高を3.9mとしている。	5.0	0.60	1.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ	共用部分の壁長さ比率を0.2としている。	4.0	0.40	2.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.01	2.0	0.50		
	3.3 設備の更新性			2.6	0.98	-	-		
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-		2.7
	1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-		2.0
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-		3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-		3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-			
LR 建築物の環境負荷低減性			—	-	-	-	3.4		
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	4.1		
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI: 0.872	4.2	0.20	-	-	4.2	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				4.9	0.50	-	-	4.9	
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEI: 非住宅 0.72 住宅(専有部) —	4.9	1.00	-	-		
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-		
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-		
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.0	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			節水コマ、節水型便器の設置	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-		
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-		
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	2.9	
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み				3.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.20	-	-	3.2	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.3	0.70	-	-		
1			消火剤	4.0	0.33	-	-		
2			発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33	-	-		
3			冷媒	3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率に基づくスコア換算=3.9	3.9	0.33	-	-	3.9	
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-		
1			雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-		
2			污水处理負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
3			交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-		
4			廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-		
1			騒音	3.0	0.33	-	-		
2			振動	3.0	0.33	-	-		
3			悪臭	3.0	0.33	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				1.6	0.40	-	-		
1			風害の抑制	1.0	0.70	-	-		
2			砂塵の抑制	3.0	-	-	-		
3			日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-		
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-		
2			昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-		